

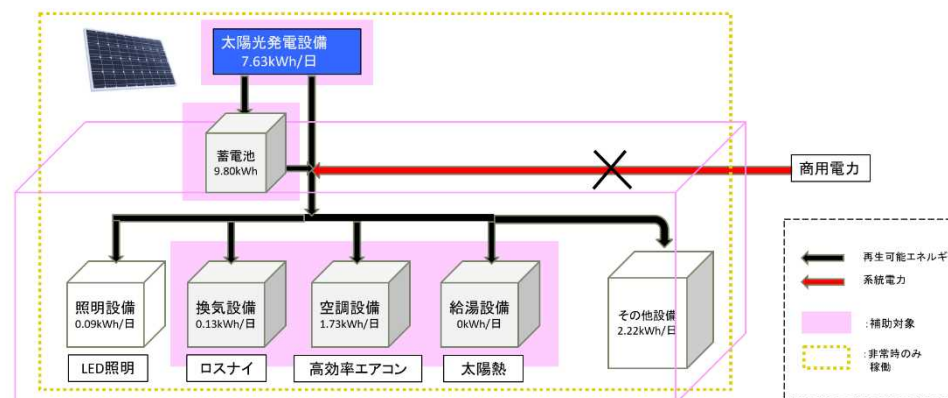
7.7 平時の脱炭素化と災害時の安心を実現するフェーズフリーの省CO₂独立型施設支援事業

① スケートボード場 オフグリッド休憩・宿泊施設

事業概要

| | | |
|-------|-------|-----------------------------|
| 事業者概要 | 事業者名 | 株式会社 大村組 |
| | 業種 | 建設業/不動産業 |
| 事業所 | 所在地 | 静岡県 |
| | 総延床面積 | — (20フィートコンテナ) |
| 補助金額 | 補助金額 | 約500万円 |
| | 補助率 | 2/3 |
| 主な導入備 | 従前設備 | — |
| | 導入設備 | 太陽光発電、蓄電池、換気、空調、断熱、コンテナハウス |
| 事業期間 | 稼働日 | 2023年2月 |
| 区分 | | 新設 |
| 特長 | | 太陽光を有効活用した完全オフグリッドの休憩・宿泊施設。 |

システム図



写真

コンテナハウス全体



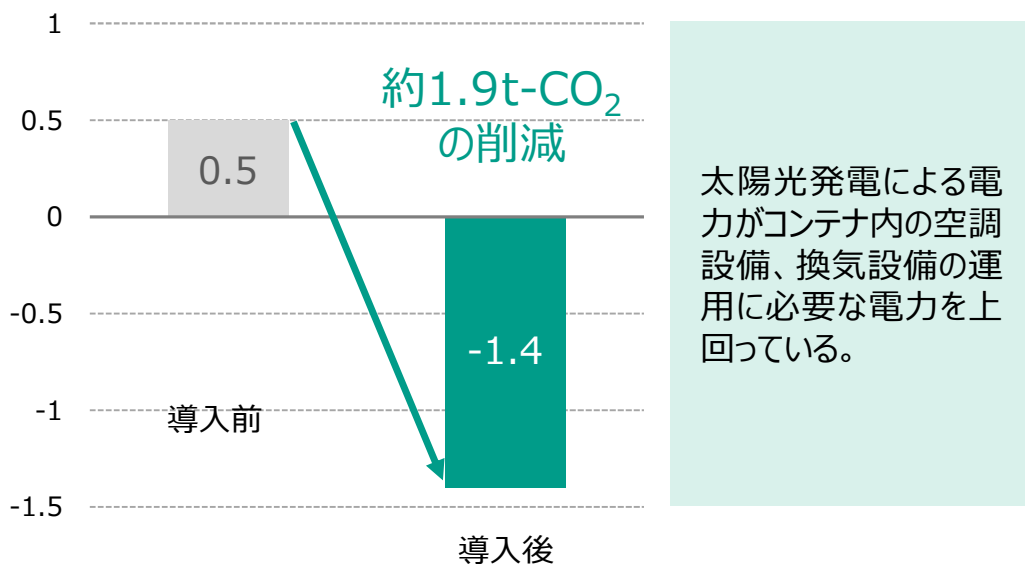
①スケートボード場 オフグリッド休憩・宿泊施設

事業の効果※1

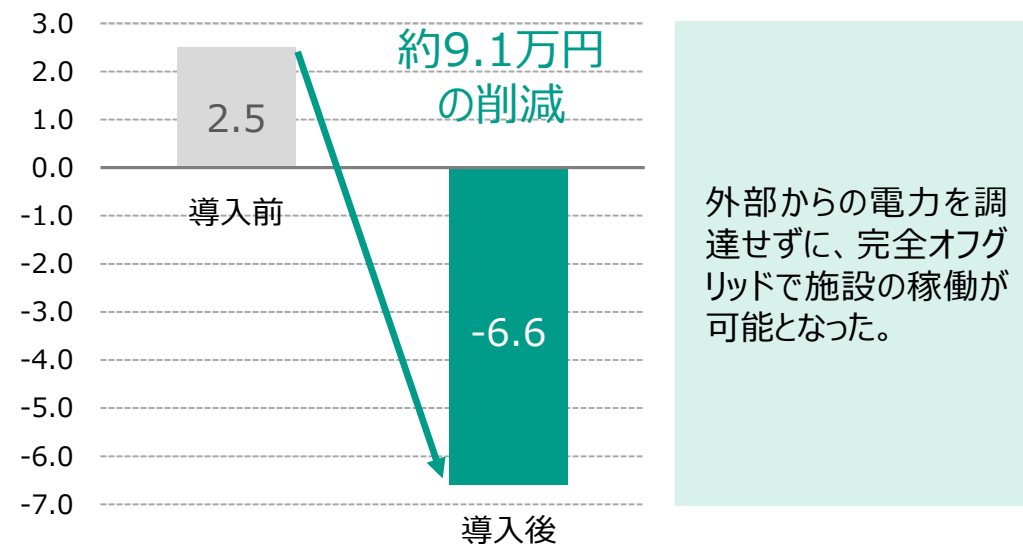
| | | |
|---------------|--------|---|
| エネルギーコスト削減額*2 | 約9万円/年 | |
| 投資回収年数 | 補助あり | - |
| | 補助なし | - |

| | |
|-------------------------|----------------------------|
| CO ₂ 削減量 | 約1.9t-CO ₂ /年 |
| CO ₂ 削減コスト*3 | 162,276円/t-CO ₂ |

CO₂排出量 (t-CO₂/年)



エネルギーコスト (万円/年)



【脚注】
 *1 ここに示す事業の効果は、電力単価：22.7円/kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。
 *2 エネルギーコスト削減額：系統から電力量を調達した場合と比較した省エネ・創エネ効果（電気代の削減額）。
 *3 CO₂削減コスト：「補助額÷（CO₂削減効果×耐用年数）」によって算出。

①スケートボード場 オフグリッド休憩・宿泊施設

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 完全オフグリッドの休憩・宿泊施設：

コンテナハウスはスケートボード場利用者の休憩室や宿泊施設として利用している。
コンテナハウス屋根の太陽光発電による電力でコンテナ内の空調設備、換気設備を賄う完全オフグリッドでの運用が可能である。
給湯設備は太陽熱温水器を導入している
コンテナハウス未使用時は、隣のコンテナハウや事務所で太陽光発電の電力を使うことで、再エネ電力を有効活用している。

■ 災害時の避難所としての地域貢献：

地域の自治会と地震・洪水などの災害時の協定を締結し、被災者の避難所として活用が可能である。
コンテナハウスは車両タイプであり、車で牽引して、自治会が指定する場所に移動させることができる。



空調設備



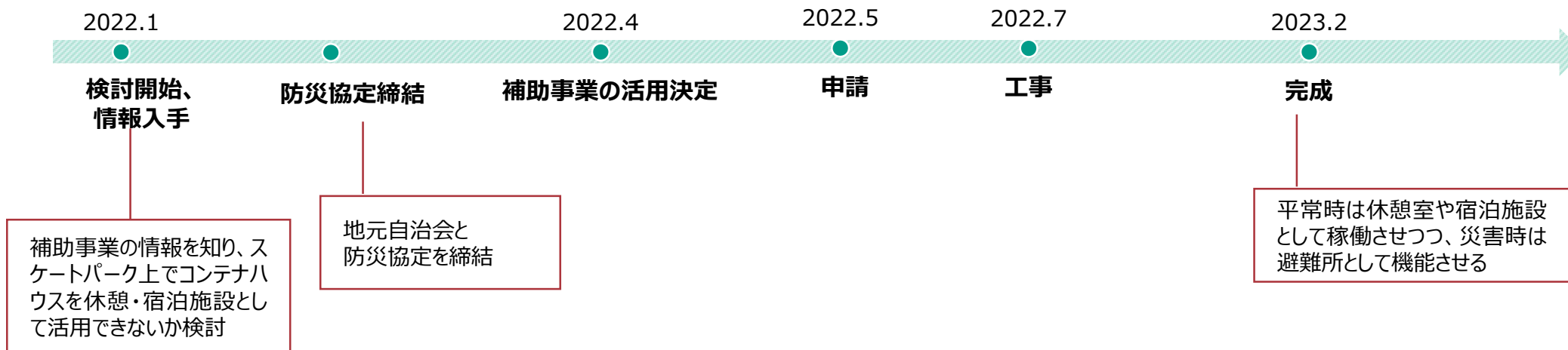
換気設備



太陽光発電パネル、蓄電池

①スケートボード場 オフグリッド休憩・宿泊施設

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



大村幸治

(株)株式会社大村組 代表

今回の補助事業により完全独立型の休憩・宿泊スペースを導入することができました。スケートボード場を利用されるお客様からも快適であるとの声もいただいております。

まだ災害時に稼働させたことはございませんが、万が一の災害に備えて平時からも稼働できるようにしており、地域貢献をしていきたいと考えています。